



「笑顔の青春マーチ」 益城中ブラスバンド



益城町

議会だより

清水

せ い す い

平成26年(2014) 6月定例議会 No.56



皆で健康を考えよう
むぞらしか お宝さん

P16

九州中央自動車道
決起大会レポート

P15

議会の賛否表

P14

常任委員会レポート

P12~P13

一般質問 9名が町政を問う

P3~P11

補正予算など審議

平成26年度一般会計

P2

6月 定例議会

補正予算

潮井自然公園整備一步前進

特例条例

町長給与等10%削減が決定

平成26年第2回定例議会は、6月17日から24日まで会期8日間で開催され、11億1303万円を追加し総額101億1303万円とする平成26年度一般会計補正予算など16議案（予算4、条例4、専決処分7、物品購入1）の審議を行った。一般会計は当初予算が4月の町長選に伴う骨格編成だったため肉付け。主な事業は潮井自然公園の工事費、町文化会館の音響設備デジタル化に伴う備品購入費など。

町長の給与を10%削減するとした条例改正案は、期末手当の基礎額にも適用すると修正し可決した。

補正予算

潮井自然公園
憩いの場所に
さらに一歩近づく

町の公園化を進めている潮井自然公園整備工事費として1億3000万円が計上された。現在の水源を活かした5.2ヘクタールの用地に四季を通じて、春は桜、初夏はアジサイや花菖蒲、ワサビ谷や芝生広場などを整備し、水を基調に年間を通じて町内外から訪れる憩いの公園をめざした夢のある公園計画がなされてきたが、平成29年完成を目指して大きく一歩を踏み出す。

益城町文化会館の音響設備がデジタル化へ

益城町文化会館の音響設備デジタル化に伴う備品購入費に5200万円が計上された。現在は建設当初からのアナログ音響で、24年が経過しており、修理に必要な部品の交換にも支障をきたしているため、デジタル化が検討されていた。今後はより一層高品質な音響サービスを提供することになる。



条例制定

町長の給与（期末手当含む）10%削減

町長選の公約に基づいて町長の4年間の任期中、給与を10%削減する旨の給与特例条例案が提出されたが、期末手当の基礎額にも10%削減を適用するべきだとの修正案が議員から提出され、賛成多数で可決された。これにより給与及び期末手当が任期中の4年間は特例として削減される。

「町行政改革推進委員会2名増の10名へ、一部公募とする」を否決

「行政改革」は町の新しい行政改革大綱について町長はじめ役場職員による行政改革本部を経て、町長が委嘱する「行政改革推進委員会」に諮問、町長へ答申、住民に報告という流れになる。

現在委員は8名であるが、今回住民の中から公募し定数を10名にするものであったが、何ら現在の8名でも不具合はなく、現状のままで良いとのことから賛成少数で否決された。

益城町文化会館指定管理者制度へ向けて条例制定

現在の直営から指定管理者制度の導入を図ることとなり、管理の基準、業務範囲などを規定する必要から賛成多数で可決された。

ご意見番

人事評価構築支援業務委託料とは

職員の能力や実績を適正に評価することで、人材育成と組織の活性化を図るとともに、職員アンケートや研修会、人事評価システムの構築等により、人事評価制度の導入を図るものである。

消防施設費委託料は事務委託時のシミュレーション範囲内が

消防広域化に伴う平成26年度負担額は、2億1420万5千円で約280万円程度負担減となり、シミュレーション額の予定内である。

文化会館の指定管理者導入時期及び現在の職員の待遇は

指定管理者の導入は平成27年4月からを予定する。期間は原則として5年以内、職員については他部署へ、非常勤職員の中で継続希望されれば希望に添うように検討する。

一般質問



宮崎 金次議員

議会の現状に対し町長の議会対策は

町長と議会が町政の両輪として、是は是、非は非で対処

現在の町債をどう減らすのか、

住民サービスは

まず臨時財政対策債を減らし、住民サービスは4年後見直す



益城町議会

議会の賛同を得るためには、先行的な調整と根回しが必要では

宮崎 我が町議会では、先の町長選挙で西村町長を支持した議員は5人で、支持しなかった議員は12人であり、この現状から執行部提案の議案が必ずしも通るとは限らないが、町長の議会対策を伺いたい。今後は議会と執行部との意見調整の為に、早期に丁寧な説明と必要な根回しが必要になると思うが、町長の見解を伺う。

議会への根回しは、密室政治になるので慎重にしたい

町長 地方議会は国の政党政治と違って、議員と町長はそれぞれ町民から選ばれて対等な関係で、町政の両輪として議論を深めたい。また議案は全員協議会で説明し、議会への根回しは密室政治の恐れがあるので慎重にしたい。

子ども達に借金を残さない財政見直しの具体策は

宮崎 町長は選挙運動中、子ども達に町の借金を残さない為に財政の見直しが必要と主張された。そこで財政見直しの具体策について、①現在の町債約94億円をいつまでにどれだけ減らすのか。②今町が行っている中学生までの医療費の無料化等の住民サービスを見直す考えがあるか、伺いたい。

今後は、増加しつつある町の借金の流れをあらゆる角度から見直し、財政再建の為に中長期計画を定め、強い意志を持って毎年の財政を律していく事が必要と思うが如何か。

臨時財政対策債を含め、起債の抑制に努める

町長 町債残高を出来るだけ増やさないように努めるが、平成26年度予算で起債予定額3億円を減額しなければ、町債残高を減らない状況である。

また今後小中学校改修事業等の起債が予定されているが、臨時財政対策債を含め、起債の抑制に努める。

次に、住民サービスの見直しについては、4年後に財政健全化が図られない場合は、現在実施している住民サービスを見直したい。今後は税収アップを図りつつ、スクラップ・アンド・ビルドのもとに議員の皆さんと一緒に考えていきたい。



広安町民第2グラウンド

広安町民第2グラウンドの代替えは

宮崎 これまで使用中であった広安町民第2グラウンドが6月で使用できなくなったが、その理由と住民の不満に対する町の施策について伺う。また出来るだけ早い時期に、新たなグラウンドの建設をお願いしたい。

当面益城町民グラウンドを使用、新たなグラウンド建設を検討

教育長 広安町民第2グラウンド用地は、単年度契約で3年後に見直すこととしていたが、地権者の都合で延長できなくなった。利用者の不満を解消すべく、当面6月から益城町民グラウンドを広安校区グラウンド扱いとして利用してもらおう。

なお、新たなグラウンドについては、今後、場所、面積を含め、検討する。



江越 信保議員

町民主役の政治というのがどんな政治姿勢なのか

行政主導型から町民主導へ、住民の提案を積極的に取り入れる

「ヘルプカード」や「健康マイレージカード」取り組みは継続するのか

「ヘルプカード」は地域で見守る事業、早急に取り組む

町づくり基本条例の制定と総合計画の関連性は

江越 公約に「町づくり基本条例」を定めるとあるが、基本条例は自治体組織と運営の基本原則。現在施行されている「総合計画」との関連性は、

町づくりは住民と行政が一体となっていくもの

その機運が高まった結果の一つが基本条例の制定に

町長 総合計画の、平成28年度から32年度までの後期基本計画の策定時に基本条例の制定も視野に入れ、盛り込んでいきたい。

条例は目的を達成するための手段。制定にあたっては、住民の方々と内容を検討し、制定しなければ効果はない。住民と行政との協働の町づくりの機運が高まった結果の一つが条例制定になる。総合計画にある「協働の町づくり」の推進が条例制定の一步と考える。

町民主役の政治というのがどんな政治姿勢か

江越 行政主導型から町民主

役型、共存、調和、融合の新しい町づくりを目指し、町民提案制度や町政モニターを導入を述べられているが具体的には、

町民提案制度は協働の町づくりの一手法

町長 町政モニター導入については、行政施策について各種団体や学識経験者、住民からモニターを公募し、意見をいただく。各種委員会においても委員会の性質、必要の有無を検討し、積極的に公募導入を図る。

現在の教育環境、子育て支援施策は継続するのか

江越 当町が独自に行っている「いきいき益城っ子」「ドリーム益城っ子」「給食費の一部補助」等及び子育て支援の義務教育間の医療費無料化制度は継続するのか。

今後も必要な事業であり現制度を継続

町長 学校に関する事業は今後も必要な事業であり継続する。子育て支援についても継

続していきたいと思っている。また、平成27年3月に策定する益城町子ども・子育て支援事業計画に基づき必要な施設、サービスを実施したい。さらに、子育て支援策として、任意での予防接種の負担軽減についても財政状況に照らしながら適切に対処したい。

ヘルプカード・健康マイレージカードの取り組みは

江越 障がい者や高齢者等の方が緊急時や災害時の避難場所においては様々な支援が必要。予め、緊急連絡先や自身の特徴、常用薬などを記入した「ヘルプカード」の作成配布を提案してきた。

また町民の健康増進を図り、貯まったポイントを活用して様々な特典を受けられる



健康増進に励む住民

町長 「ヘルプカード」については本年3月議会において提案を受け、導入に向け関係各課と協議し取り組む旨の答弁があつており、障がい者に対して、地域で見守る事業の一環として実施に向け早急に取り組む。「マイレージカード」については、引き続き実現に向けて調査研究し、積極的に取り組んでいきたい。

ヘルプカードは地域で見守る事業の一環、実施に向けて取り組む



(ヘルプカード見本)



稲田 忠則議員

益城台地土地区画整理事業に対する取り組みについて

町の活力、雇用拡大、財政基盤の強化に結び付けるため積極的に取り組む

益城中、木山中学校の空調設置工事の進捗状況は

入札が順調に進めば7月に工事契約を行い、11月完成を予定している

区画整理事業を重点的政策とし、優先的に取り組むか

稲田 町の西の玄関口である益城台地土地区画整理事業を成功させ、町の顔となる施設をつくり、活力ある町の発展と繁栄につながるよう、町、組合、地権者と一心同体で頑張りたい。

西村町長は、この事業に対し、所信表明で、区画整理事業は絶対に成功させ、活力ある町づくりをしたいと述べられたが、重点的政策として、かつ優先的に取り組んでいかれるか今一度決意を伺いたい。

区画整理事業の実現は町全体の発展に影響を強く及ぼすと考える

町長 土地区画整理事業が実現しないと他の開発について県も進めてくれない状況にある。事業の実現は町全体の発展に影響を強く及ぼすと考える。これを実現するためには、「事業に携わっている人との信頼関係では」と考えている。現在いろいろな問題が生じること、既に熊本市、熊本



益城台地

県に出向いて直接お話をさせてもらっている。実現に向けては、私自身も組合員の皆さんと一緒に、誠心誠意取り組んでいく。

常に情報交換をしながら進めていくなら、絶対に実現できていると思う。

それぞれの地区の課題と今後の見通しについてどのような整理をされているか伺う。

新たな町づくりはこの事業の実現にある

町長 西地区は交通量が周辺道路に及ぼす影響に対する道路交通対策の見通しが立たず断念したが、事業資金の根幹となる保留地処分計画を確実なものにすれば、住居系を基本とした計画でも十分成功すると思う。

中地区は諸事情により理事の辞職があつたが、関係者の意見を聞きながら、再構築の検討を行っている。役員の選任ができれば施工面積が8ヘクタールで地形も平坦なことから短期間で事業が進められる地区である。

東地区は、熊本県が本年度末をめどに市街化区域編入手続きを進めているので、事業計画書の策定作業と関係機関との意見調整を進めている。

稲田 西地区、中地区、東地区の3地区について、まず1力所でも事業を立ち上げるためには、町が区画整理組合と

それぞれの地区の課題と今後の見通しは

空調設置工事の進捗状況は

稲田 議会で両中学校に設置が決定されたが、今後のスケジュールを伺う。

設計ができ上がり入札事務に取り掛かっている

教育長 入札等が順調に進めば、7月中旬に工事契約を締結し、工事に入り3カ月程度要すると思う。11月に完成を予定している。

各小学校への空調設置は

稲田 これからの検討課題だと思つたが、各小学校への空調設置について前向きに検討しているか伺う。

5校で108教室を見込んでいる

教育長 平成26年度中に設計業務委託費として補正予算に計上させていただき、平成27年度中に全校を実施する計画案と、平成27年度と平成28年度に分けて実施する計画案を検討している段階である。



高橋津代美議員

「町の立て直し」「危機感を抱く町の現状」とはどういう意味か

地方債の残高が増え、周りの町村に比べ発展していない現状であり、ボトムアップ方式により、町民主役の町政を行う

町長のマニフェスト、選挙中に使われた言葉の意味について伺う

高橋 町長が選挙期間中に出席されたマニフェスト及び後援会討議資料の中から、「町の立て直し」とは、何を立て直すのか。更に「危機感を抱く町の現状を、これ以上見過ごす事が出来ない」とはどういう事なのか伺う。

町長 地方債の増加や我が町が周りに比べ遅れている事、今後は町民主役の町政を

まず「町の立て直し」については、地方債残高は、平成18年度約57億円、平成25年度末見込み額が約94億円となっており、7年間で約37億円増加している。更に経常収支比率は、平成18年度が78・4%で年々上昇傾向にあり、平成24年度では84%になっており、更に実質公債費率は、平成18年度が6・8%、平成24年度が7・4%と急激な上昇ではないが、今後、公債費の増加により上昇する。次に「危機感を抱く町の現状をこれ以上見過ごせない」ということについては、なか

な一一言では言い表せないが、要するに、「菊陽町、嘉島町、御船町、西原村はどんな発展しているのに、益城はなぜ発展しないのか」との町民の声に危機感を抱いた事と、私の37年間の行政マンとしての経験から、これからの町づくりは、町民の皆様が主役でなければならぬと感じた事である。

前町長が社会基盤を整備したため、借金が増えたのを「危機感」とは如何なものか

盤の整備をしたもので、現在の益城町の財政は熊本県下でも、決して悪い方ではないと思う。しかしながら比較的恵まれた我が町が、なぜ周りに比べて伸びないのか、町長の考えを伺いたい。

選挙中に挙げた危機感とは、これまで行政主導で行われてきた町政に対して、危機感を抱いた

町長 この危機感というのは少しずれてはいる感じがするが、私が選挙中に挙げた危機感というのは、これまでの行政主導を変えなければという事で挙げた。

これまでのトップダウン方式から、ボトムアップ方式をミックスしたような町政運営が大事だと考えている。更に町民の中には、たくさん素晴らしい人材がおられる。この人達の意見やアイデアを生かした町政運営を行っていきたい。



定住促進事業（福原地区）



渡辺 誠男議員

「財政危機」の立て直しの具体策は何か

臨時財政対策債を抑制し、サービスを維持できるか検討する

町長発言「住永グループ対正義の戦い」とはどんな意味か

選挙期間中の発言については、今回答弁を控える

財政立て直しで「見過ごすことが出来ない」とは何か

渡辺 町長が37年間に渡り行政に携わって、出した結論は「財政の立て直しを見過すことは出来ない」ということであるが、具体的には何か。また、インフラ整備については、ほぼ終了してきているので、臨時財政対策債は随時減少していくと思われるが如何か。

臨時財政対策債の残高を増やさない方向でいく

町長 町債残高の約半分は臨時財政対策債が占めている。これを増やさない方向で考えていく。これを抑制していく場合には、支出の見直しも必要になるが、現状のサービスを維持しながら、どこまで抑制できるか、について十分検討したい。

「まちづくり基本条例」は何のために、どのようなプロセスで

渡辺 この条例を施行した市や町のなかでは、最近になり取り止めた自治体も数多くある。

このような状況のなか、本当に条例は必要なのか。また、行政を批判的にみる一部の団体には、「政治的な意図と目的を持って、主導したものが数多くみられ、条例の構成もパターン化している」と言う専門家もいるが、どう捉えているか。



益城町役場

住民と内容を検討し制定することが必須

町長 「誰がどのような役割を担い、どのような方法で決めていくのか」を文章化し、自治体の基本ルールを定めたものである。

行政が主体的に決めるのではなく、住民とともに内容を検討し、制定することが必須であるから、住民の理解と協力を得ながら検討を図っていく。

「熊本経済週刊政治レポート」に発表された見解について

渡辺 町長選挙期間中に発行されたなかで、町長は「今回の選挙は、住永企業・熊本交通グループ対正義の戦い」と言われたが、住永企業のどこが不正義であるのか。

また出陣式では「益城町を守るために戦ってきた」とも言われているが、どのような意味で、何の意図があるのか。住永企業は、輸送ノウハウを研究開発して繁栄を築き、町に対して、雇用や納税、また地域の文化・スポーツなどの各種活動に協賛や支援など多大な貢献をしている。

町長は、今後も住永企業を「不正義の企業」として捉えて、町政を行っていくのか。

町内企業を大事に

町長 12月4日に、私が週刊政治レポートのインタビューに答えた見解については、選挙期間中の発言であり、答弁を控えさせていただきます。今後、すべての町内企業を大事にした町政を行う。



甲斐 康之議員

「町民が主役」の町づくり、公約実現はどう取り組むのか

町民の町政参画で、町民が主役の町づくりを目指し、公約は総合計画との整合を図り実現させたい

情報公開度を上げて、公正で透明性の高い町政を

地域に積極的に出向いて、行政情報を公開し要望を受けたい

「町民が主役」の町づくりとは

甲斐 町民が主役の町づくりを目指すとはどのようなことか、町政運営の重点をどこに置き、公約の実現は具体的にどう取り組むのか。

町民の意見を聞き施策に取り組むたい

町長 まちづくり基本条例の制定、どこでも町長室の開催、町民提案制度、各種委員の公募制の導入など町民の町政参画で「町民が主役」の町づくりを目指す。

公約の実現は、町の最上位計画である総合計画との整合を図り、短期、中期、長期に分類していきたい。

町民目標の運営で風通しのよい町づくりを

甲斐 公約の中で「防災訓練」「朝市」など、行政ボランティア、生産者等の共創で取り組みが開始されている。

子育て支援、高齢者支援、福祉、健康、にぎわいなどは早期に取り組まなければいけないものである。

町づくりは役場職員を信頼し、意見を取り入れて町民目標の運営を行い、風通しのよい町づくりを期待したい。

将来を見据えた対策をつくる

町長 「防災訓練」「朝市」など町民や担当課職員の協力がある。子育て支援、高齢者支援など待たなしであり、今のうちから対策を立て5年後10年後を見据えた対策をつくっておくべきと思う。

公正で透明性の高い町政の推進を

甲斐 「町民の知らないことがいっぱいある」と指摘されるのは行政の怠慢である。町民に行政情報を提供する施策をどう考えているか。

国保税値上げ、高遊原南消防組合の広域化について、いずれも決定後に住民説明会を開いている。これは、行政のトップダウンのやり方で逆さまの運営であった。

町民に直接関係ある重要課題は、事前に情報を説明し、考えを問う、そういう運営を行うべきである。

地域に出向いて要望を取り入れたい

町長 担当者と積極的に地域に出向いて、町の行政情報を公開し説明して、地域からの要望を受けていきたい。

議会議事内容の公開で議会をガラス張りに

甲斐 議会の様子をホームページで録画中継すれば、議会がガラス張りになれるのではない。行政情報は町民のために利用されるのだ」という意識を徹底し、情報提供の体制を整備することで多くの意見を取り入れる仕組みを確立すること……



テレビの「データボン画面」(イメージ)

の「データボン画面」がある、現在、山都町をはじめ4自治体の防災、行政、イベントなどの案内を文字情報としてテレビで見ることが出来る。このような情報公開手段を活用してはどうか。

情報の発信はあらゆる方法を活用したい

町長 議会の議事内容の公開は、議員が議論して決定するものであるが、前向きに検討をお願いしたい。

町民への行政情報の発信はあらゆる方法を活用したい。

住宅リフォーム助成制度の早期実現を

甲斐 地元小売業者や地域を元気にする中小企業振興基本条例の制定や住宅リフォーム助成制度の実施は、早期に実現させるべきだ。

早い段階で導入を検討したい

町長 住宅リフォーム助成制度は、地元経済の活性化のためにも効果があることは確認出来ている。早い段階で導入を検討したい。

政治姿勢について

野田 西村町長は、行政マンから政治家になったわけだが、選挙開票時の西村陣営の選挙立会人であった前議員が、任期中で議員辞職され、農協理事選挙に立候補して当選し、農協理事になられたが、政治家としてのようには感じ、その行動をどの様に理解、判断されるか。

発言を控えさせていただく

町長 議員辞職されたことについては、発言を控えさせていただく。



野田 祐士議員

財政危機を唱えて、町の行財政を停滞させるのか

臨時財政対策債を抑制・行政改革大綱の素案作成中

抽象的な政策ではなく具体的なものを教えてほしい

担当課で検討し、外部団体等の協力指導をいただく

「財政危機」と「埋没の危機」とは何か

野田 益城町は県内で優良な健全な財政状況にあるが、どこが「危機」で何が「埋没」と言うのか教えていただきたい。

また、町長が言う「危機的財政状況の町」から、数千万円の退職金を、二度に渡り受け取ることにして、ご自身どう考えているか。給与の一部カット(4年間で約398万円)より退職金(1660万円)を辞退したほうが、町長が言う「町の危機的財政状況」は少しでも改善するのではないか。

「公約」に従い進めていく

町長 近隣の町(菊陽町や大津町)と対比すれば、危機的状況ということである。

今回は公約どおり給料の10%のみカットとし、ボーナス及び退職金については、カットしない分(いままでどおり)で考えている。

住宅リフォーム政策の内容は日本共産党と同じ政策と考えてよいのか

野田 日本共産党が言い続けてきた「住宅リフォーム政策」の内容と、西村町長が言われている内容とは、何が同じで、どこが違うか。

また、町の財政にどんな影響をもたらし、どのような効果があるか。

また、前町長が推進されてきた「定住促進事業」はどうしていくのか。

町内の工務店等の所得が上れば税金も見込める

町長 町には住宅会社により、建物がいっぱい建っている。ただ町内の工務店等により恩恵がないので、この制度を考えた。町内のリフォーム業者において、商工会の商品券などで補助し、町内の他の職種にも波及させたい。ただ予算をどこかで絞らなければならぬ、と思う。

町民の皆様のために誠心誠意を尽くす

町長 「週刊政治レポート」については、やはり選挙戦との戦いであったということでは理解いただきたい。



町長室



坂口 政弘議員

住永前町長が推進してきた政策を引き継いで実施するのか

どの様な影響があるか、財政状況を見極めて検討していく

「定住促進事業」の今後の取り組みはどうか

継続化の検討が必要である

何を引き継ぎ、何をとりやめるのか

坂口 以下の項目について伺う。

- 一、中学卒業まで医療費無料
- 二、給食費の500円補助
- 三、高校生までの医療費無料
- 四、子育てしながら働ける環境づくりとは何か
- 五、タクシー補助券の発行回数
- 六、ワンコイン特定健診の実施時期
- 七、前町長の評価

本町の将来の財政見通しを十分見極めて計画的な行政運営を図っていく

町長

- 一、所得制限せず継続する
- 二、継続するが増額は無い。財政状況と比較検討もある
- 三、財政を見極め検討
- 四、街カフェや共同レストラン
- 五、75才以上の自家用車が無い家庭
- 六、来年度において考える
- 七、民間的発想で取り組み、

スピード感を持った、すばらしい実績がある

「待機児童問題」の解決にどう取り組むか

坂口 待機児童がいる状況のなか、西地区に偏った保育環境になっていると思う。木山地区を中心拠点とした保育環境の整備も必要ではないか。

子どもの数を精査して考える

町長 木山地区については、子どもの数を精査しながら、建設については考えていく。

「潮井自然公園」を町民憩いの場に

坂口 潮井水源は、地元の人々の協力や関係者の努力により、ここまで出来上がってきた。

このような状況のなか、「町民の憩いの場」または町外からも来てもらえるような環境整備が重要になってくる。どのような構想があるか伺う。

道路整備もふまえて考えていかなければならない

町長 総額4億5000万円の事業費をかける公園で、既に着手している。中身は充実しているが、アクセス道路が一番問題となるので、町民の皆さんと協議して、道路整備について考えていきたい。

過疎化対策と併せて「定住促進事業」の継続をするべきではないか

坂口 津森地区の児童の減少は顕著であり、過疎化対策も考慮する必要がある。

下水道事業と並行し、定住促進事業をさらに延長させていくべきであると思うが如何か。

下水道整備事業の状況を考慮しながら検討

町長 定住促進対策などに併せて、小規模特認校などによる児童数の増加策も、教育委員会と連携しながら検討していきたい。

津森地区の下水道整備事業状況も考慮しながら、今後の方向性を本年中に継続化の検討をする考えである。



定住促進事業進捗状況



竹上 公也議員

先の町長選において「今・町は埋没の危機、私物化を止める」とはどういう事なのか

行政主導型でなく町民主導型でないといけない

西地区土地区画整理事業の今後の取り組みには

商業系ではなく、住居系の方向で取組みたい

今後、町政への取り組みは

竹上 益城町が今にも無くなってしまふ。喰いつぶしている。過激な発言であり相手候補に言うことではない。

大変失礼な話である、同じ思いを抱いて、出馬したのであれば、相手候補を敬う気持ちを持つことが、反感や差別をなくす事とは考えなかったのか。

何を持って埋没の危機なのか、私物化とは何か、伺いたい。

行政主導の町政に危機感

町長 町民主役の町づくりでなくては本当の町づくりは成し得ない。行政主導型の町政運営に危機感を抱いた。又、発展する周辺市町村に埋没しないだろうかという危機感をもった。

地域の陳情について

竹上 地域の区長さん達は地域住民の代表として日頃より地域の世話役として活動し、町民の苦情や、地域の改善に気を配り年に一度の町長への

陳情も直接話が出来事に喜びを感じている人も多い。

町長は共創の町づくりを行うと言うのが共創とは町民と行政が一つになって作り上げていくという事ではないのか。ならば地域区長の陳情も一緒に考え、協議を行い、誠意を尽くすことも町長の使命ではないか。

要望書は各担当課へ

町長 今年から陳情は直接町長が受け付けるのでなく各担当課へ要望書を提出してもらう。要望箇所の調査や写真撮影、対応金額の算出を行い、提出された要望箇所の優先順位を決めて、関係各課と打ち合わせをし、予算の範囲内で何が出来るのか、何処から行いか決定していく。

今後の工事発注は選挙に差別なく行うか

竹上 先の町長選挙に於いて応援しなかった建設業者及び管工事業者に対して工事の発注はしないとの噂が出ています。業者の皆さんにしても、この町で精いっぱい、インフラ整備や災害復旧など、町の



地域再生道路橋りょう工事現場

発展に大きな役割を背負ってこられた、大切な町の納税者の皆さんである。西村町長が誠意を持って町を動かすのであれば町民に対して平等な政治を志してほしい。

西地区区画整理事業の推進を図れ

竹上 西地区の区画整理事業については熊本県・熊本県警・熊本市・益城町との連携による話し合いが進まず、商業系の区画整理が道路アクセス事情により実現しにくい状況にある。町は商業系から住居系の区画整理に変更するとしているが結論を出すには早すぎはしないか。商業施設が出来れば地域は活性化し、雇用も生まれ税収にもつながる。再度検討のうえ努力を重ね、益城町の新たな発展の核として調和のとれた町づくりをお願いしたい。

区画整理組合の関係者と共に実現に向け努力する

町長 区画整理事業の道路については、非常に厳しいものがあるが、区画整理組合の皆さんと一緒に実現に向け、頑張っていく。道路関係で県に出向く時は、必要に応じ、同行する。

公平・公正な工事発注に努める

町長 町発注工事の指名業者選定については、工事の適正かつ確実な施工を図るため、平成22年10月に益城町工事請負建設業者選定要領を定め、業者選定に当たっている。今後の工事発注についても従来どおり地元業者育成に配慮し、公平・公正な工事発注に努めていく。

6月議会 常任委員会しポート



潮井自然公園整備箇所



農免道路改良事業予定地域

潮井公園にサイホン式噴水や 河原の遊び場の要望があった

建設 経済



県道小池竜田線改良工事・小池三叉路付近



グランメッセ木山線跨道橋下部工築造打杭工事

建設・経済常任委員会では、付託された1議案について審査を行い、慎重審議の結果、平成26年度一般会計補正予算を原案の通り全会一致で可決・認定した。

なお、質疑では、防犯灯の劣化対策、定住促進補助金交付事業の今後の見通し等について質問があり、それぞれ

の担当者から防犯灯については点検業務での対処を行う、定住促進事業の期間延長については、町内で協議をしたいとの答えがあった。また、橋梁の長寿命化計画については、担当者から危険性の高いものから適切な対応を行っている現状が説明された。

現地視察では、県道

小池竜田線改良工事箇所、県担当より、小池三叉路信号設置は平成27年の完成予定との説明をうけた。又潮井自然公園整備箇所、及び町道グランメッセ木山線跨道橋下部工築造箇所を視察し、それぞれ担当者から工事の進捗状況や計画の概要説明を受け、現状の確認を行った。

常任委員会しポート 6月議会

総務

平成26年度補正予算は可決、町長給料は一部修正して可決

総務常任委員会では、付託された「平成26年度益城町一般会計補正予算」及び「条例の改正5議案」について、慎重な審査の結果、「益城町長の給料の特例」については修正して可決、「益城町行政改革推進委員会設置条例の改正」は賛成少数で否決、残り3議案については、全議員賛成で可決した。

また補正予算関係では、益城町総合計画の実施計画と今回提出された予算との整合性や、災害に備えた備蓄品の予算措置が不十分ではないか等の意見が出された。

現地視察は、今年度予定されている熊本空港南側地域の農免道路改良事業予定箇所、担当課から説明を受け事業の概要を確認した。更に潮井自然公園整備箇所について、公園整備構想等について担当課から説明を受けた。また布田川の現状や要望事項について、地元区長より報告があった。

待機児童への取り組みは、 抜本的かつ早急な対策が必要

福祉



広島保育園

福祉常任委員会では、付託された4議案（補正予算4議案）について審査を行い、関係課長から詳細な説明を受け、慎重審査の結果、いずれも原案の通り可決した。

また、国民健康保険システム改修委託費に関する質疑があり、マインバー制度導入のための改修費との説明を受けた。

現地視察については、広島保育園の施設環境及び保育状況を確認した。

布田川の水質問題については、地元区長から現在の状況の説明を受けた。

潮井自然公園整備箇所については、担当者から今後の整備計画について説明を受けた。



潮井自然公園（布田川）



九州中央自動車道建設促進大会が7月15日高千穂町で開かれました。総会には熊本県と宮崎県側の3市9町議会から首長や議員ら約250名が出席しました。

九州中央自動車道の建設促進決起大会開かれる

沿線住民の「命の道」の早期全線開通を

三島会長（熊本市議会議員）が「九州の中央横断道路が開通することで、九州東西間の連携と交流が強化され地域格差をなくすとともに、沿線地域の産業振興と緊急医療の改善、輸送の促進が期待できる。嘉島ジャンクションの小池～高山インターチェンジの開通を始め、延岡・北方道路の開通。高千穂・日之影間の一定の事業が進んできているが、全線開通の見通しは立っておらず、予断を許さない状況にある。沿線住民にとって「命の道」であり、早期実現に向け積極的に関係機関に働きかけていかなければならない」とあいさつしました。

現在、宮崎県側は延岡～北方間の8.5kmが開通、北方～蔵田間が4.6kmの26年度



小池～高山インターチェンジ

開通をめざしています。熊本県側は、小池～矢部間の21.2kmの整備がすすんでいます。今年度の事業費は、熊本県側は昨年の48億円から73億円、宮崎県側は40億円から80億円と大幅に増額されており、事業の促進が期待されます。

決起大会では、新直轄区間の「小池高山～北中島」間の早期完成、「北中島～矢部」間の開通時期を明示し、早期完成を図ること。未事業化区間である「矢部～高千穂」と「日之影～蔵田」間の早期事業化を図ることなど大会決議を採択しました。

（取材 甲斐 康之）

表紙のことば

6月、浮かんでくるのは梅雨、田植え、そして紫陽花、少し湿っぽい感じはするけれど、自然の大きさを感ずる時期でもある。

そんな梅雨に入る前に行われるのが、秋の大運動会ならぬ、初夏の大運動会である。

歳のせいかな運動会＝栗、柿、おにぎりを思い浮かべてしまう。

今回、中学校の運動会の中から、部活紹介の一面面を捉えてみた。益城中吹奏楽部の紹介。最初、ちょっと音が出にくく照れ笑い、やっと音が出てホッとした顔なのか。

素敵な笑顔で部活紹介大成功に思わずシャッター。（写真・文 中村健二）

編集後記

我が家の小さな庭に咲くペチュニアの花に、どこからともなくやってきた一匹のミツバチがせわしく動き回っていました。

ミツバチといえば集団で生活をしている仲間同士で会話するために独特の方法を用いているそうです。仲間には餌場の情報を伝達するために「尻振りダンス」があり、それは餌場が近いときは「円型ダンス」遠ければ「8の字ダンス」を踊るそうです。

互に会話をしたり、情報を共有することは動物も人も変わりはありません。古代の情報伝達は、声や音、そして煙で相手に伝達する「烽火」から文書などで伝達する近代へ。

現代は電話や雑誌・新聞、テレビやラジオ。さらには携帯電話が登場したかと思えばメールやブログなど。情報の氾濫の世の中でついでいくのが精いっぱいです。

「議会だより」も皆様に少しでも議会の内容をお伝えしようと「伝えるから伝える」をモットーに、号を重ねることににより良い「議会だより」になりますように広報委員一同、毎回の編集会議で頭をかきむしりながら、がんばっています。

（文責 江越信保）

議会広報編集特別委員会			
委員長	江越 信保		
副委員長	坂田みはる		
委員	竹上 公也		
委員	甲斐 康之		
委員	野田 祐士		
委員	宮崎 金次		

農業委員に議会から3人を推薦

平成26年7月の農業委員会委員任期満了に伴い、平成26年7月16日に、益城町議会臨時会が開催され、慎重な審議の結果、議会から農業委員として3人の推薦が決定されました。

議会より農業委員に推薦された方々は以下の通り

坂本正彦 氏
住 所 益城町大字平田
生年月日 昭和27年7月2日



有田義博 氏
住 所 益城町大字惣領
生年月日 昭和26年7月30日



益城町農業委員会は、公選で選ばれた15人と法令に基づく団体等の3人に、議会から推薦された3人を加えた21人で3年間務めます。

農業委員の皆様のご活躍を心からお祈りします。



中村義則 氏
住 所 益城町大字砥川
生年月日 昭和25年3月6日

《6月議会での議案への賛否の状況》

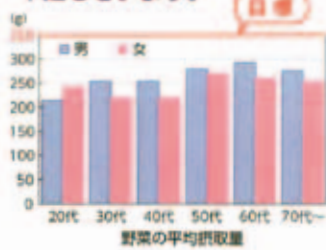
事 件 名	結 果	野田 祐士	高橋津代美	宮崎 金次	坂本 貢	甲斐 康之	寺本 英孝	坂口 政弘	石田 秀敏	坂田みはる	竹上 公也	福永 誠一	稲田 忠則	荒牧 昭博	渡辺 誠男	山内 親宣	江越 信保	中村 健二
		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
平成25年度一般会計補正予算（第5号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
平成25年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
平成25年度介護保険特別会計補正予算（第4号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
平成25年度公共下水道特別会計補正予算（第5号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
益城町税条例等の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
益城町国民健康保険税条例の一部改正について	可	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
平成26年度一般会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
平成26年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
平成26年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
益城町長の給料の特例に関する条例【修正案】	可	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×	一
男女共同参画センター設置及び管理に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
行政改革推進委員会設置条例の一部改正	否	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	一
益城町文化会館条例の制定	可	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	一

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 採：採択 不：不採択 可：可決 否：否決 棄：棄権

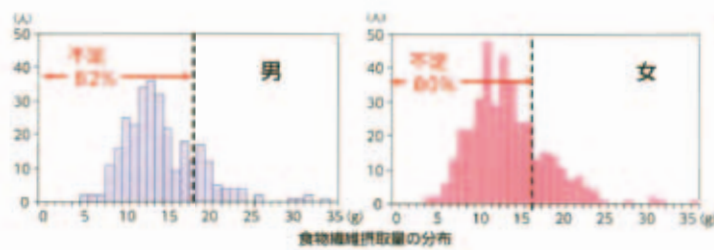
訂正：前号（No.55）の11ページ≪3月議会での主な議案への賛否の状況≫の中で、事件名「平成25年度一般会計補正予算（第4号）」において、稲田忠則議員の賛否を「×」（反対）と記載していましたが、「○」（賛成）に訂正します。

野菜の摂取が不足しています！

野菜の摂取目標は、350gです。野菜の平均摂取量は、男性266g、女性255gで約100g不足しています。



食物繊維の摂取目標は、男性19g以上女性17g以上です。目標を満たしている人は約2割です。



★アドバイス



にんじん
100g = 中1本

○あと100g野菜を食べましょう！



ミニとまと
100g = 大5個



白菜
100g = 大2枚



ブロッコリー
100g = 5房

バランスの良い食事をしましょう！

参考資料 熊本県健康福祉部

いどばた
談議

皆で健康を考えよう

この日は7月生まれの誕生会と、七夕集会の日。先生に抱っこされた0歳児から、可愛いお姉さんお兄さんの5歳児までが一堂に会し誕生会が始まりました。



誕生会の主役たち

また、年長さんになると社会見学を通し、視野を広める目的で園外保育も計画されていると聞き、健やかな子ども達の成長を願った7月7日となりました。

(取材 坂田みはる)

園児110名が通う第一保育所は、心身共に元気で明るく、思いやりのある子どもの保育をモットーとされ、所長の榎木野先生を先頭にパワー全開の明るい保育所です。現在、1名の男性保育士がおられ、いろいろな面でお父さんの存在。特にダイナミックな遊び方は子どもたちにも喜ばれているそうです。

今年10月開催の「長崎がんばらんば国体」のマスケット、がんばくん、らんばちゃんの登場には驚きの可愛い歓声がおこりました。「えー何で来たの?」「どこから来たの?」可愛い質問が飛び交います。さて、そろそろランチ

タイムです。園内の給食室から美味しそうな匂いが漂い始めます。「食の安全」「食育」の観点から「給食室をなくさないことが何より大事」と力説する所長は、子ども達と園内での野菜作りや田植えも行い、11月には稲刈りの予定だそうです。実った野菜やお米は給食に出される予定だとか、楽しみです。



益城町立第一保育所

写真の付いた大きなメダルのプレゼントを受け取ります。そして、先生方による七夕紙芝居(フラックパネルシアター)が行われ、織姫と彦星、天の川が輝いていて、子ども達もしばしその美しさに見入っていました。



がんばくん、らんばちゃんに歓声

